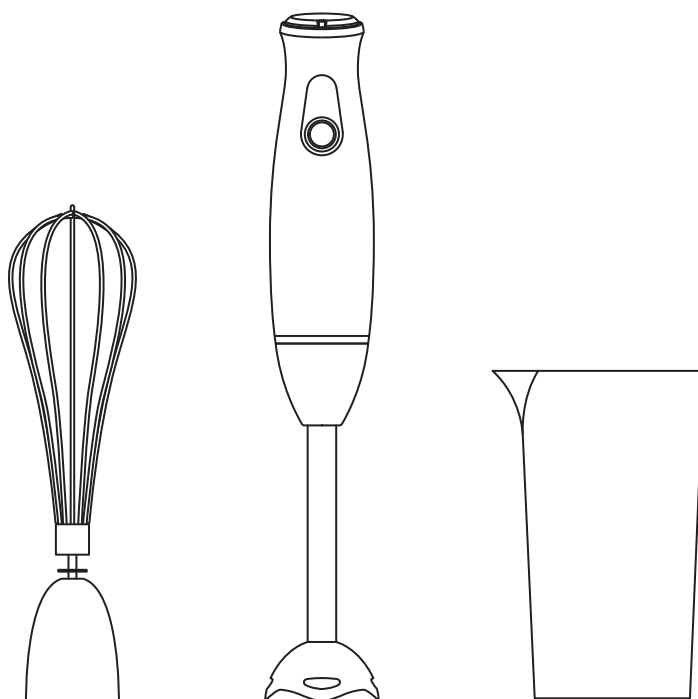


STAINLESS HAND BLENDER

品番 HM-813



※この製品は日本国内用に設計されておりますので、国外では使用できません。(FOR USE IN JAPAN ONLY)

取扱説明書 保証書付

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。

お読みになった後は、いつでも見られるよう大切に保管してください。

目次

安全上のご注意	1～3
各部の名称	4
スピード調整について	5
ブレンダーの取り付け・取りはずし	5
ホイッパーの取り付け・取りはずし	6
ブレンダーのご使用方法	7～8
ホイッパーのご使用方法	9～10
お手入れ方法	11～12
故障かな？と思ったら	13
アフターサービスについて	14
仕様	14
保証書	裏表紙

※本書に記載されているイラストはイメージです。

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
以下の警告マークを示している事項はいずれも安全に関する内容です。必ずお守りください。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容

 禁止 してはいけない内容	 指示 実行しなければならない内容
--	---

 警 告	
 禁止	<お取扱いについて> ●絶対に分解・修理・改造をしない。 発火・感電・けがの原因になります。 ●本体、ブレンダー接続部、ホイッパー接続部に水をつけたり水をかけたりしない。 ●浴室や高温多湿の場所では使用しない。 感電・ショートのおそれがあります。 ●乳幼児のそばで使用したり、手の届くところに置いたりしない。 ●自分で操作できない人や、補助を必要とする人（子供を含む）、取り扱いに不慣れた人だけで使用させない。 ●回転中のブレンダーの刃、ホイッパー金属部に指・スプーン・箸などで触れない。 けがの原因になります。 ●電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で、ブレンダーの刃、ホイッパー金属部に指・箸・スプーンなどで触れない。 けがの原因になります。 ●専用カップなどの容器に指・箸・スプーンなどを入れて調理しない。 ●ブレンダーの刃には直接触れない。 けがの原因になります。 ●コンセントや配管器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外で使用しない。
	<電源プラグ・コードについて> ●コードを傷つけない、引っ張らない、折り曲げない、束ねない、はさみこまない、ねじらない、重いものを乗せない、加工しない。 ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 ●電源プラグやコードが傷んでたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

安全上のご注意

⚠ 警 告



<お取扱いについて>

- 異常・故障がある場合は直ちに使用を中止し、点検・修理を依頼する。
発火・感電・けがの原因になります。

<電源プラグ・コードについて>

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
- 電源プラグにほこりなどが付着している場合はよく拭き取ってから使用する。
電源プラグにほこりなどがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 使用中、電源プラグやコードが異常に熱くなるときは、ただちに使用を中止する。

⚠ 注 意



<お取扱いについて>

- 落としたり、ぶつけたりなど強い衝撃を与えない。
- 調理以外の目的に使用しない。
故障や発火の原因になります。
- 不安定な場所で使用したり、作動中は持ち運んだりしない。
けがの原因になります。
- 破損・変形などの異常がある時は使用しない。
感電・けがの原因になります。
- 専用カップは火にかけたり、電子レンジ・オーブンなどで使用しない。
変形・破損・けがの原因になります。
- 専用カップに 40℃以上の材料は入れない。また冷蔵庫や冷凍庫に入れない。
破損してけがの原因になります。
- 定格時間以上は使用しない。
定格時間（ブレンダー：1分、ホイッパー：3分）以上の連続使用はモーターの過熱による故障の原因になります。連続して使用したい場合は一度スイッチを切り、15分以上経って本体が冷えてから使用してください。
- 水や油などがかかりやすい場所や温度・湿度の高い場所、直射日光の当たる場所では使用したり、置いたりしない。
感電・ショート・火災・変形・けがの原因になります。
- 氷やかたい食材、粘り気のある食材などを入れて使用しない。
- カラ運転はしない。
- 専用カップ以外の容器を使用する場合はガラス製の容器、陶器・磁器などの割れやすいものは使用しない。



<電源プラグ・コードについて>

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを持たず必ず電源プラグを持って抜く。
- 使用後、お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。

安全上のご注意

長年ご使用の電気製品の点検のお願い

定期的に「安全上のご注意」、「ご使用方法」を確認してください。
長年のご使用などの影響で製品が劣化し、故障や事故につながる場合があります。

こんな症状はありませんか？

- 電源プラグ・コードに損傷が見られる。
- 電源プラグ・コードが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 本体が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- その他異常・故障がある。



ご使用中止！！

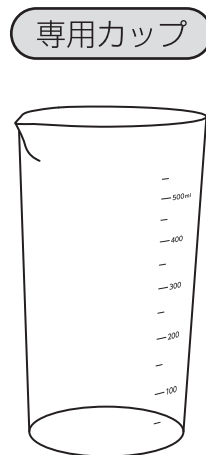
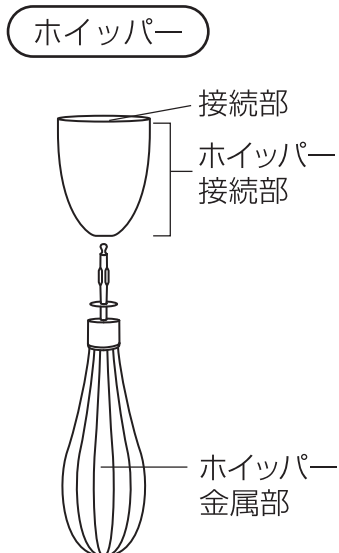
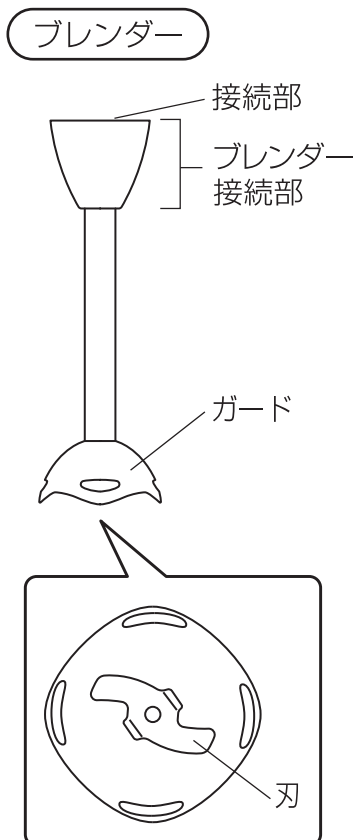
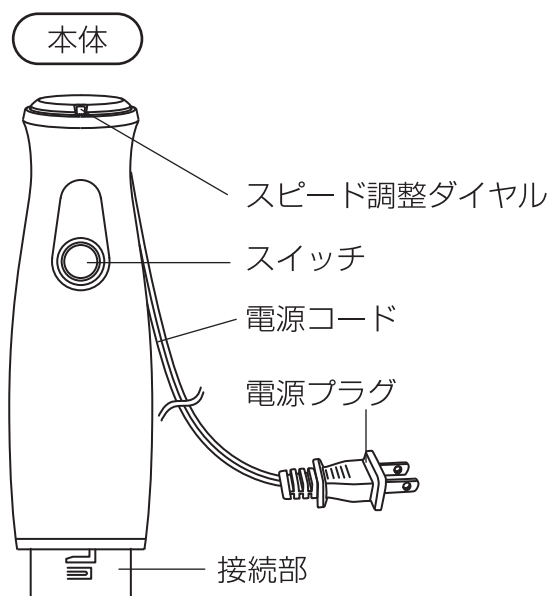
故障や事故防止のため、使用を中止して、電源プラグを抜き、
販売店などに点検・修理をご相談ください。

お客様ご自身での修理は大変危険ですので、
絶対にしないでください。

各部の名称

ご使用前にご確認ください。

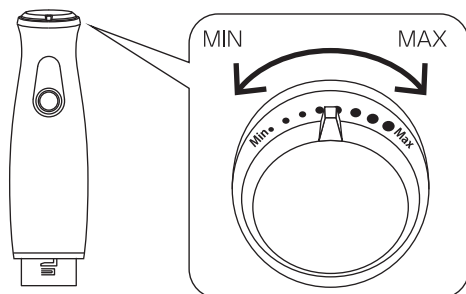
※  は付属品です。



スピード調整について

スピード調整ダイヤルを図のように動かして、回転速度を調整してください。

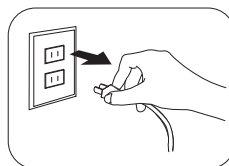
※無段階でスピード調整が可能（カチカチ音は調整時の目安です）



ブレンダーの取り付け・取りはずし

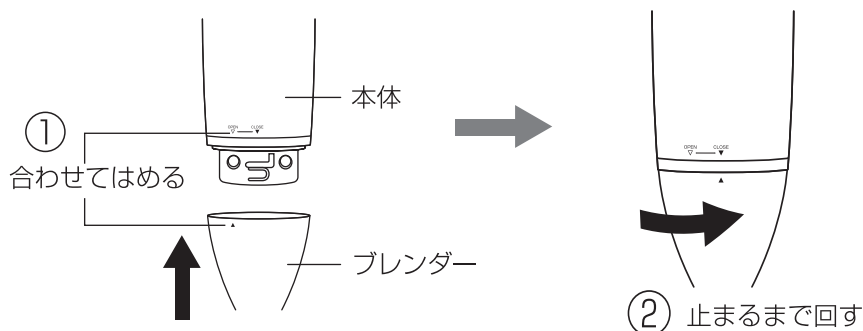
△ 注 意

- 必ず電源プラグを抜いて行う。
- 刃に触れないよう注意する。



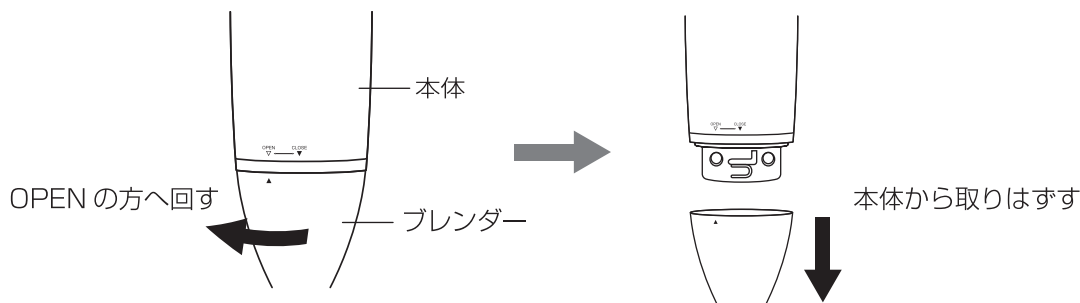
■取り付け

- ①本体の「OPEN▽」とブレンダーの▲を合わせてはめる。
- ②ブレンダーを矢印の方向に止まるまで回して取り付ける。
本体の「CLOSE▼」とブレンダーの▲が合い、止まるまでしっかり回してください。



■取りはずし

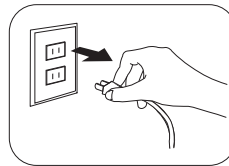
取り付けと逆の手順でブレンダーを本体から取りはずす。



ホイッパーの取り付け・取りはずし

△ 注 意

●必ず電源プラグを抜いて行う。



■取り付け

①ホイッパー金属部をホイッパー接続部の溝に差し込む。

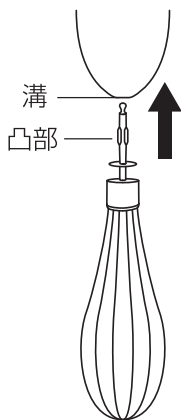
ホイッパー接続部の溝とホイッパー金属部の凸部を合わせ、カチッと止まるまでしっかり差し込みます。

②本体の「OPEN▽」とホイッパー接続部の▲を合わせてはめる。

③ホイッパー接続部を矢印の方向に止まるまで回して取り付け。

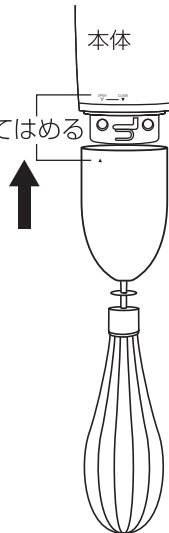
本体の「CLOSE▼」とホイッパー接続部の▲が合い、止まるまでしっかり回してください。

① カチッと止まるまで差し込む



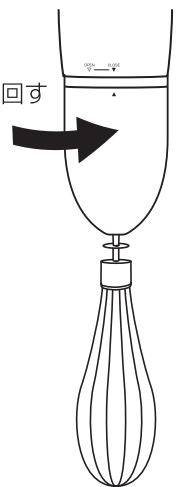
②

合わせてはめる



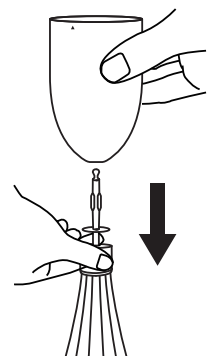
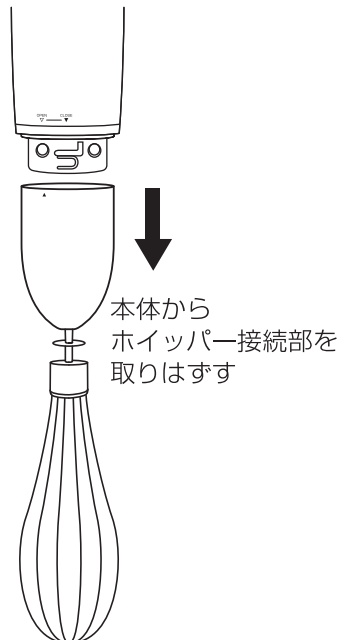
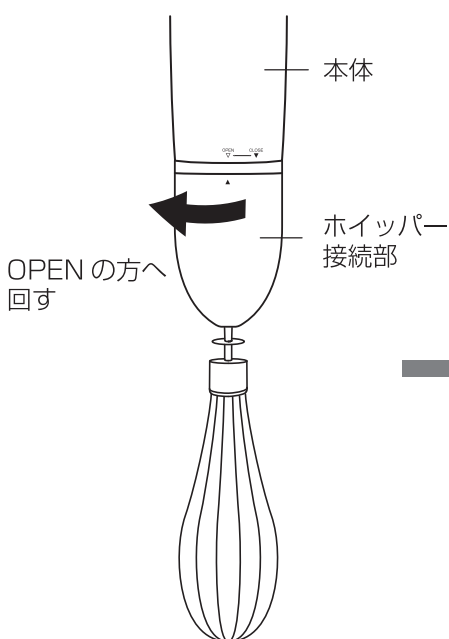
③

止まるまで回す



■取りはずし

本体からホイッパー接続部を取りはずし、ホイッパー接続部からホイッパー金属部を抜く。



ホイッパー接続部から
ホイッパー金属部を抜く

ブレンダーのご使用方法

※初めてお使いになるときやしばらくご使用されなかったときは、本体および各部品をお手入れしてからご使用ください。(11～12 ページ参照)

△ 注 意

- 使用時以外は必ず電源プラグを抜いておく。
- ブレンダーの刃はとても鋭利なため、直接手で触れない。
- 定格時間を超えて使用しない。(定格時間：1 分) 定格時間以上の連続使用は、モーターの過熱による故障の原因になります。連続して使用したい場合は一旦運転を停止し、15 分以上経って本体が冷めてから使用してください。
- 加熱調理中の鍋の中では使用しない。一旦火から下ろし、冷ましてから作業してください。

ブレンダー禁止食材

- ・氷や冷凍フルーツ、冷凍野菜
- ・肉類、魚類
- ・粘り気のあるもの(里芋など)
- ・ナッツ類・コーヒー豆
- ・乾物(だし昆布・煮干など)
- ・水分の少ないもの(ゆでたいも類・人参など)

材料の下ごしらえについて

- ・固い皮、種、芯は取り除く
- ・熱い食材は 40℃ くらいまで冷ます。
- ・食材は小さく切ってから入れる。
固い材料：1cm 角
やわらかい材料：2～3cm 角

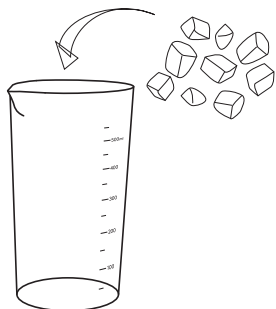
使用できる容器について

- 専用カップ・金属製容器・プラスチック製容器
 - ✕ ガラス製容器・陶器・磁器製などの割れやすい容器
- ※金属製の容器などは表面に傷が付くおそれがあります。ご注意ください。

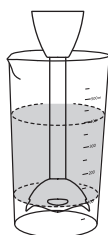
1 食材を専用カップなどに入れる

材料を下ごしらえ(上記参照)し、専用カップなどに入れてください。

※専用カップ以外を使用する場合は上記の「使用できる容器について」を参照してください。



専用カップに入れられる食材の目安量

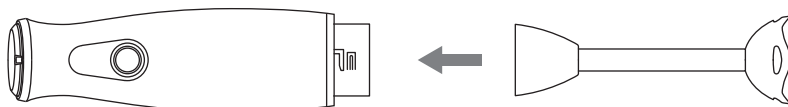


- 液体を入れた場合
ブレンダーを専用カップに入れたとき、液面を左図の点線範囲内にしてください。(目盛目安は 100～400ml です。)
- 固形物を入れた場合
食材やレシピに合わせた量を入れてください。
※入れすぎると飛び散るおそれがあります。

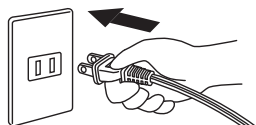
2 本体にブレンダーを取りつける

※必ず電源プラグがコンセントからはずれていることを確認してから取りつけてください。

5 ページの「ブレンダーの取り付け・とりはずし」をご参照ください。



3 電源プラグをコンセントに差し込む



❗ 確実に差し込む

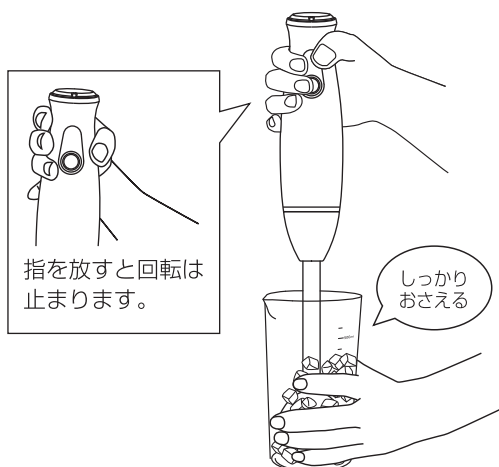
4 容器の中にブレンダーを入れて、スイッチを押す

ブレンダーを材料にしっかり押し当ててから希望の回転スピードに設定し、電源スイッチを押します。

スイッチを押し続けている間はブレンダーの刃が回転します。

材料がお好みの状態になったら、ブレンダーを容器に入れたままスイッチから指を放してください。

※回転スピードは、運転を停止した状態で変えてください。



△ 注意

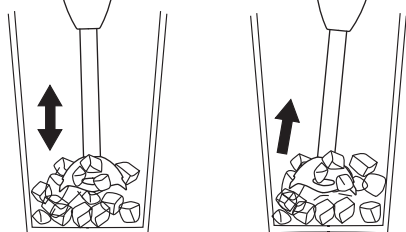
使用中に回転が止まったら、まず電源プラグを抜き、刃に材料がはさまっていないか確認する。

刃についた食材を取るときは、必ず箸などを使用する。

● 固形物の場合

①小刻みに上下に動かします。

②前後左右に動かして、すみすみまでまぜてください。

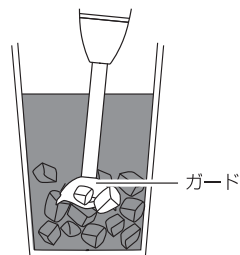


※ブレンダーが容器の底に吸いついたときは、一旦運転を止めると離れます。

● 液体の場合

ガードが液面より上に出ないようにしてください。材料が飛び散ることがあります。

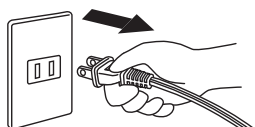
※熱い材料の場合は飛び散りによるやけどのおそれがあります。あらかじめ熱を取ってから使用してください。



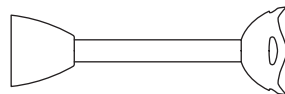
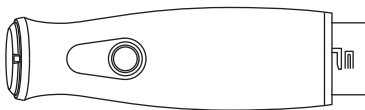
5 電源プラグを抜き、本体からブレンダーを取りはずす

作業後は、刃の回転が止まったことを確認してから本体を持ち上げてください。電源プラグをコンセントから抜き、ブレンダーを本体から取りはずしてください。

5 ページの「ブレンダーの取り付け・とりはずし」をご参照ください。



❗ 電源プラグを持って抜く



ホイッパーのご使用方法

※初めてお使いになるときやしばらくご使用されなかったときは、本体および各部品をお手入れしてからご使用ください。(11～12 ページ参照)

⚠ 注 意

- 使用時以外は必ず電源プラグを抜いておく。
- 定格時間を超えて使用しない。(定格時間：3 分) 定格時間以上の連続使用は、モーターの過熱による故障の原因になります。連続して使用したい場合は一旦運転を停止し、15 分以上経って本体が冷めてから使用してください。

ホイッパー禁止食材

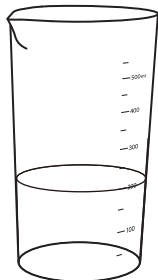
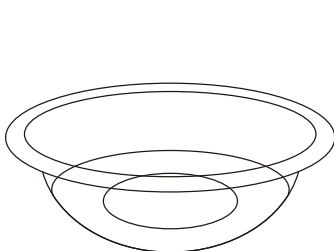
- ・粘り気のあるもの
- ・バターやクリームチーズなどを混ぜた液体
- ・パン・ピザなどの生地づくりの材料
- ・全卵の泡立てはできません。

材料の下ごしらえについて

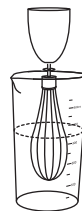
- ・生クリーム・卵白は冷蔵庫で冷やしておく。
- ・ホイッパーや容器はしっかり乾かす。
※水分や油分が付着していると泡立てにくくなります。

1 材料を容器に入れる

材料を専用カップやボウルなどに入れてください。



専用カップに入れられる食材の目安

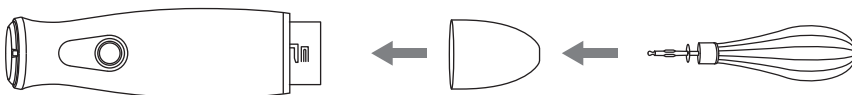


- ・材料の量はカップの半分以下にしてください。
- ・ホイッパー接続部は液体に浸さないでください。

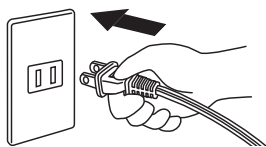
2 本体にホイッパーを取りつける

※必ず電源プラグがコンセントからはずれていることを確認してから取りつけてください。

6 ページの「ホイッパーの取り付け・とりはずし」をご参照ください。



3 電源プラグをコンセントに差し込む

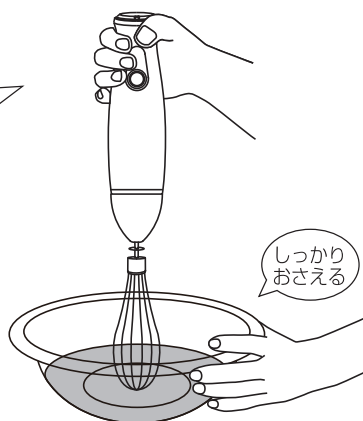


❗ 確実に差し込む

4 容器の中にホイッパーを入れて、スイッチを押す

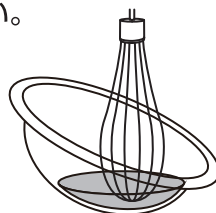
容器の中にホイッパーを入れてから希望のスピードに設定し、電源スイッチを押します。スイッチを押し続けている間はホイッパーが回転します。材料がお好みの状態になったら、ホイッパーを容器に入れたままスイッチから指を放してください。回転は止まります。

※回転スピードは、運転を停止した状態で変えてください。



⚠ 注意

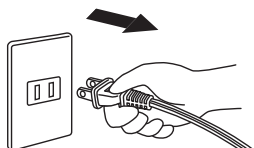
- ・ 本体をななめにすると、材料が飛び散ることがあります。
- ・ 材料が少ないときは、容器を傾けてください。



5 電源プラグを抜き、本体からホイッパーを取りはずす

作業後は、回転が止まったことを確認してから本体を持ち上げてください。電源プラグをコンセントから抜き、ホイッパーを本体から取りはずしてください。

6 ページの「ホイッパーの取り付け・取りはずし」をご参照ください。



❗ 電源プラグを持って抜く



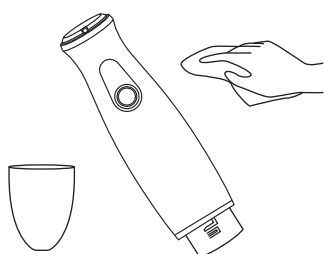
お手入れ方法

△ 注 意

- 必ずコンセントから電源プラグを抜いて行う。
- シンナー、ベンジン、みがき粉、漂白剤、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきんなどは使用しない。損傷、変色の原因となります。
- ブレンダーの刃に直接手を触れない。
- 本体、ホイッパー接続部、ブレンダー接続部は水洗いしない。
- 水洗いする場合、40℃以上のお湯を使用しない。
- 洗った後は乾いた布などで拭き取り、よく乾燥させる。さびの原因となります。

本体・ホイッパー接続部

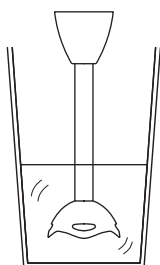
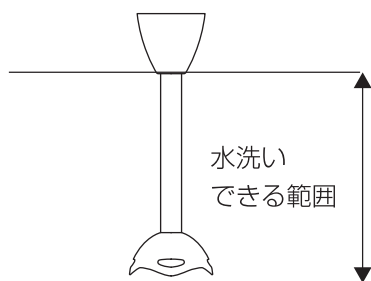
頻度：ご使用毎



- 水洗いできません。水につけたり、水をかけたりしないでください。故障の原因になります。
1. 湿らせて固くしぼった布で汚れを拭き取ってください。汚れがひどい場合は台所用中性洗剤を少量含ませた布で汚れを拭き取ってください。
 2. 乾いた布などで水分を拭き取り、乾燥させてください。

ブレンダー

頻度：ご使用毎

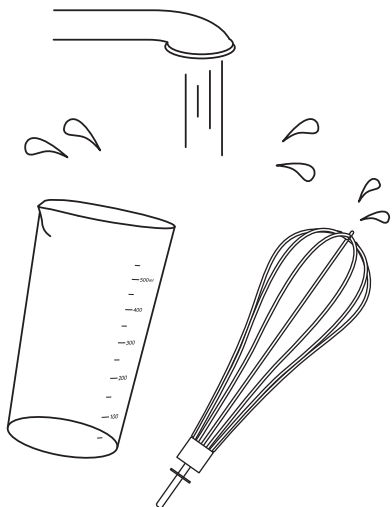


- ブレンダー接続部以外は水洗いができます。
 - ブレンダーの刃に注意して洗ってください。
1. スポンジに台所用中性洗剤をつけて洗ってください。
※汚れが落ちにくいときは、専用カップなどにぬるま湯と少量の台所用中性洗剤を入れて 10 ～ 20 秒ほど運転させてください。
 2. 洗った後は、水かぬるま湯でよくすすぎ、乾いた布などで拭き取り、よく乾燥させてください。
- 接続部
 - 1. 湿らせて固くしぼった布で汚れを拭き取ってください。汚れがひどい場合は台所用中性洗剤を少量含ませた布で汚れを拭き取ってください。
 - 2. 乾いた布などで水分を拭き取り、乾燥させてください。

お手入れ方法

ホイッパー金属部、専用カップ

頻度：ご使用毎



- 水洗いできます。
- 食器洗浄機、食器乾燥機を使用できます。

1. スポンジに台所用中性洗剤をつけて洗ってください。
2. 洗った後は、水かぬるま湯でよくすすぎ、乾いた布などで水分を拭き取り、よく乾燥させてください。

故障かな？と思ったら

ご使用中に異常を感じたときは、ただちにご使用を中止し、以下の点をご確認ください。

こんなときは	原因	対策
回転が遅い 使用中に回転が止まる 振動が大きい	食材の入れ過ぎ、大きすぎ	食材を減らしたり、小さく切り直してください。
	禁止食材を使用している	禁止食材を確認してください。
	ガード、刃に食材が詰まっている	電源プラグをコンセントから抜き、詰まっている食材を取り除いてください。
本体が異常に熱い	定格時間を超えた使用	定格時間はブレンダー 1 分、ホイッパー 3 分です。定格時間内での使用をしてください。連続使用する場合は、一旦運転を停止し、15 分以上経って本体が冷めたことを確認のうえ、使用してください。
電源プラグが異常に熱い	コンセントの差し込みがゆるい	コンセントに原因がある場合があります。最寄の電気工事店などにご相談ください。
煙が出る・電源コードが破損している		ただちに使用を中止して、「お客様相談センター」にご相談ください。

こんなときは	理由
樹脂などのにおいがする	使い始めのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、使用上の品質に問題はありません。使用していくうちににおいが少なくなります。
各接続部の内部にオイルがにじんでいる	回転を潤滑にするオイルです。故障ではありませんのでご安心して使用してください。気になる場合は乾いた布でオイルを拭き取ってから使用してください。

アフターサービスについて

修理やお取り扱いのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

1. 修理を依頼される時

- 「故障かな?と思ったら」をご確認いただいても異常のあるときはご使用を中止し、修理をご依頼ください。
- 保証期間中は、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。保証書の記載内容にそって修理いたします。なお、製品修理以外の責任はご容赦ください。
- 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

2. アフターサービスについてご不明な場合

- お買い上げの販売店または、下記「株式会社ドリテックお客様相談センター」までお問い合わせください。

お客様相談センター

 **0120-875-019** URL : <https://www.dretec.co.jp>

(受付時間：月～金 9：00～12：00, 13：00～17：00 祝祭日および当社指定休日を除く)

お客様サポート



仕様

品番 / 品名	HM-813 / ステンレスハンドブレンダー		
寸法	本体+ブレンダーセット時：約 直径 64× 高さ 385mm		
質量	本体+ブレンダー：約 740g	電源コード長	約 120cm
電源	AC100V 50/60Hz	速度調整	無段階
定格消費電力	400W ※1		
定格時間	ブレンダー：1分 / ホイッパー：3分		
材質	本体：ABS樹脂 / ブレンダー：ABS樹脂・ステンレス ホイッパー：ABS樹脂・ステンレス / 専用カップ：AS樹脂		
部品	ブレンダー・ホイッパー		
付属品	専用カップ		

※1: 調理する食材の固さや量等により消費電力は変化します。

※ 製品の仕様は改良などのため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。

本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店へご相談ください。

品 番	HM-813		
保証期間	お買い上げ日より 1 年間 ※付属品を除く	持込修理	
お買い上げ日	年	月	日
お 客 様	お名前 ご住所 お電話		
販 売 店*	販売店名 ご住所 お電話		

販売店様へ：* 欄は必ず記入してお渡しく下さい。

〈保証規定〉

- 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常なご使用状態で故障した場合には本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - ※誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地変等による故障または損傷。
 - ※ご使用上に生じる外観の変化。
 - ※本保証書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
 - ※本保証書のご提示がない場合。
 - ※一般家庭以外（例として、商用としての使用）に使用された場合の故障および損傷。
- 有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にでご負担願います。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 安全上のご注意を守らないことにより損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いません。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますのでご了承ください。また、法令の定めのある場合を除き、事前の同意をいただくことなく、上記の目的以外には利用いたしません。

輸入販売元 株式会社 ドリテック 〒 343-0824 埼玉県越谷市流通団地2-3-9

お客様相談センター



0120-875-019 URL : <https://www.dretec.co.jp>

（受付時間：月～金 9：00～12：00、13：00～17：00 祝祭日および当社指定休日を除く）